

吹田操車場遺跡



吹田操車場遺跡現地説明会資料2

(財)大阪府文化財センター

2007.06.24

C3・C4地区、C5・C6地区の調査

今回の発掘調査について

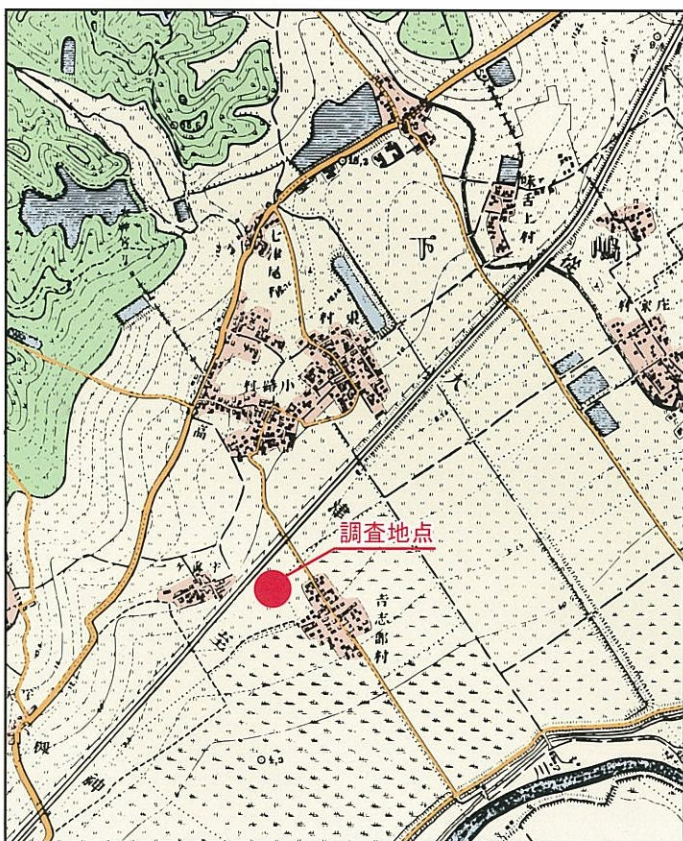
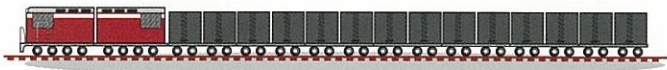
財団法人大阪府文化財センターは、吹田市芝田町地内において、昨年10月から吹田信号場基盤整備工事に伴う調査（C1・C2地区、C3・C4地区、C5・C6地区の3ヶ所）を実施しています。これまでにC1・C2地区で、古墳時代から奈良時代にかけての群集土坑312基、建物跡2棟、建物に伴う土坑を確認し、後期難波宮で使用された瓦や未使用の硯など注目すべき遺物が出土しました。その成果は平成19年3月25日に実施した現地説明会で公開し、この地区の現地調査を終了しました。引き続き実施しているC3・C4地区、C5・C6地区の調査では、弥生時代以降の地形の変遷や中世以降の耕作関係遺構が確認されました。

古地形の解明

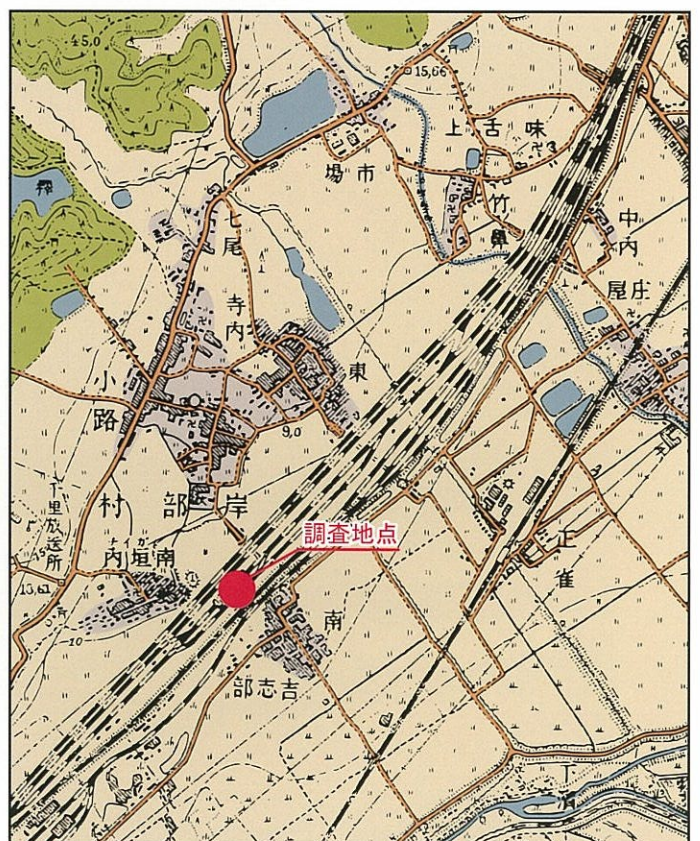
弥生時代から現代に至る微高地・谷地形・小河川などの地形の変遷を確認しました。地形は、北西から南東方向に傾斜しており、C3・C4地区の東側では約5m幅の谷地形が見つかり、弥生時代～古墳時代前半頃の地形と推定しています。奈良時代にはほぼ埋まってしまったと考えられます。また、その東に位置するC5・C6地区では中世～近世の盛土・溝・井戸・小河川などがみつっています。

土地の開発過程を検証

C3・C4地区では中世以降になると、それまで人が利用するにはあまり適していなかった起伏の多い地形を、耕作地開発を目的とした開墾が行われます。C5・C6地区で見つかった大きな盛土は、大がかりな地形改変が行われたことを物語るものです。また近世に入ると、耕作地の拡大に伴って、前述した様な埋没小河川跡の水脈を利用した農業用水用の井戸も見つかりました。



▲明治18年の地形図



▲昭和7年の地形図

今回の調査で確認された遺構

- 江戸時代…………… C 1・C 2地区、C 3・C 4地区、C 5・C 6地区で耕作地・井戸を検出しました。C 5・C 6地区では、鎌倉時代から断続的に盛土による造成がなされていました。また地割りに沿った溝も検出しました。
- 室町時代…………… C 5・C 6地区で小河川を検出しました。
- 平安時代…………… C 5・C 6地区で井戸・盛土を検出しました。
- ～鎌倉時代…………… この盛土の上面ではピットを検出しています。
- 古墳時代…………… C 1・C 2地区で群集土坑、掘立柱建物とそれに伴う土坑を検出しました。C 3・C 4地区、後半～
- 奈良時代…………… C 5・C 6地区では堆積が進み、わずかに残った谷地形が見つかりました。
- 古墳時代前半…………… C 3・C 4地区で微高地や谷地形を検出しました。
- 弥生時代…………… C 3・C 4地区で谷地形を検出しました。



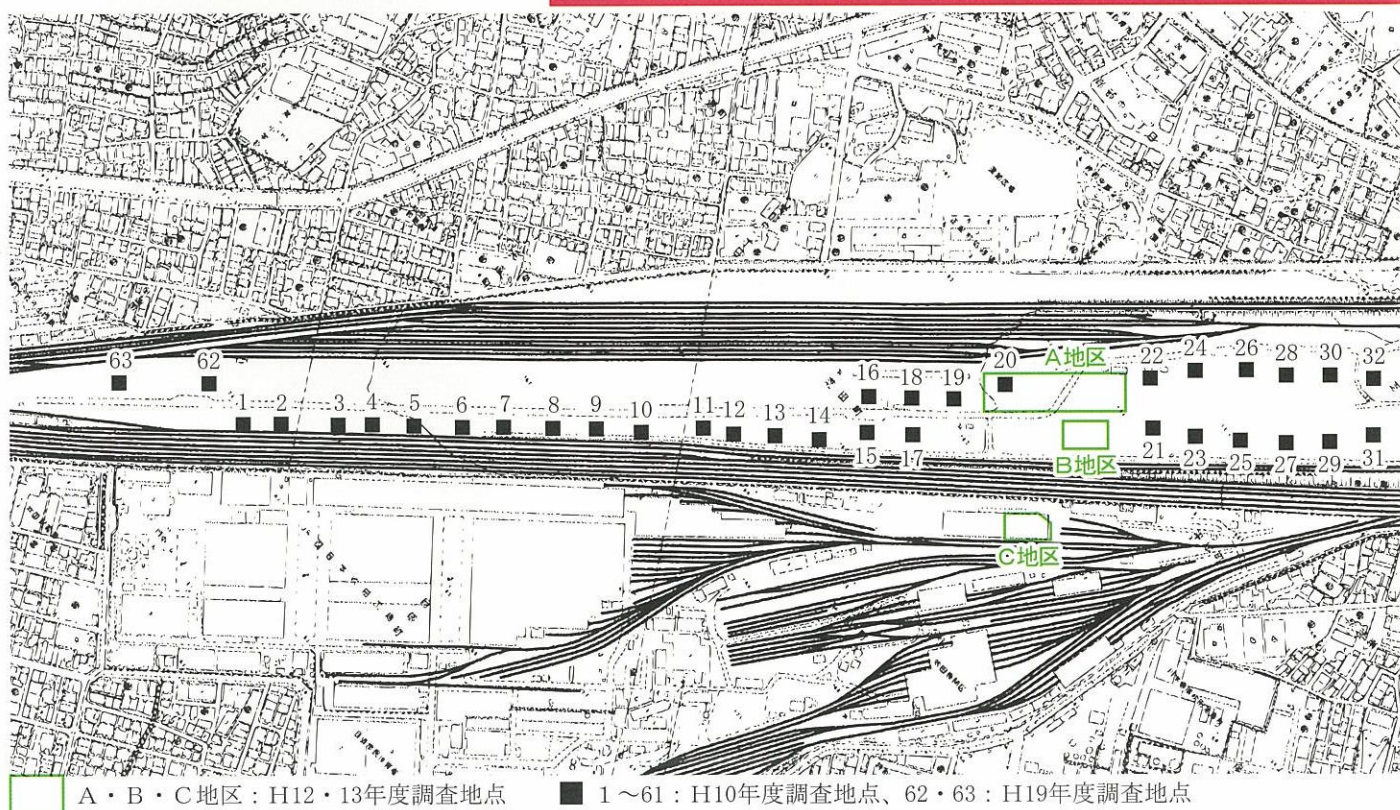
▲ C 3・C 4地区 谷地形・小河川
(弥生時代～奈良時代) (南東より)



▲ C 5・C 6地区 小河川 (室町時代)



▲ C 5・C 6地区 ピット検出状況 (室町時代)



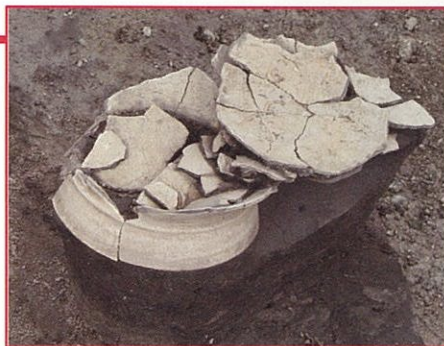


◀ C3・C4地区 谷地形
(弥生時代～奈良時代)
(北西より)

C3・C4地区▶
谷地形堆積状況
(弥生時代～
古墳時代前半)



▲谷地形 須恵器杯身
出土状況 (古墳時代終わり)



▲谷地形 古式土師器出土状況
(古墳時代前半)



▲C1・C2地区群集土坑
(古墳時代終わり～奈良時代前半)



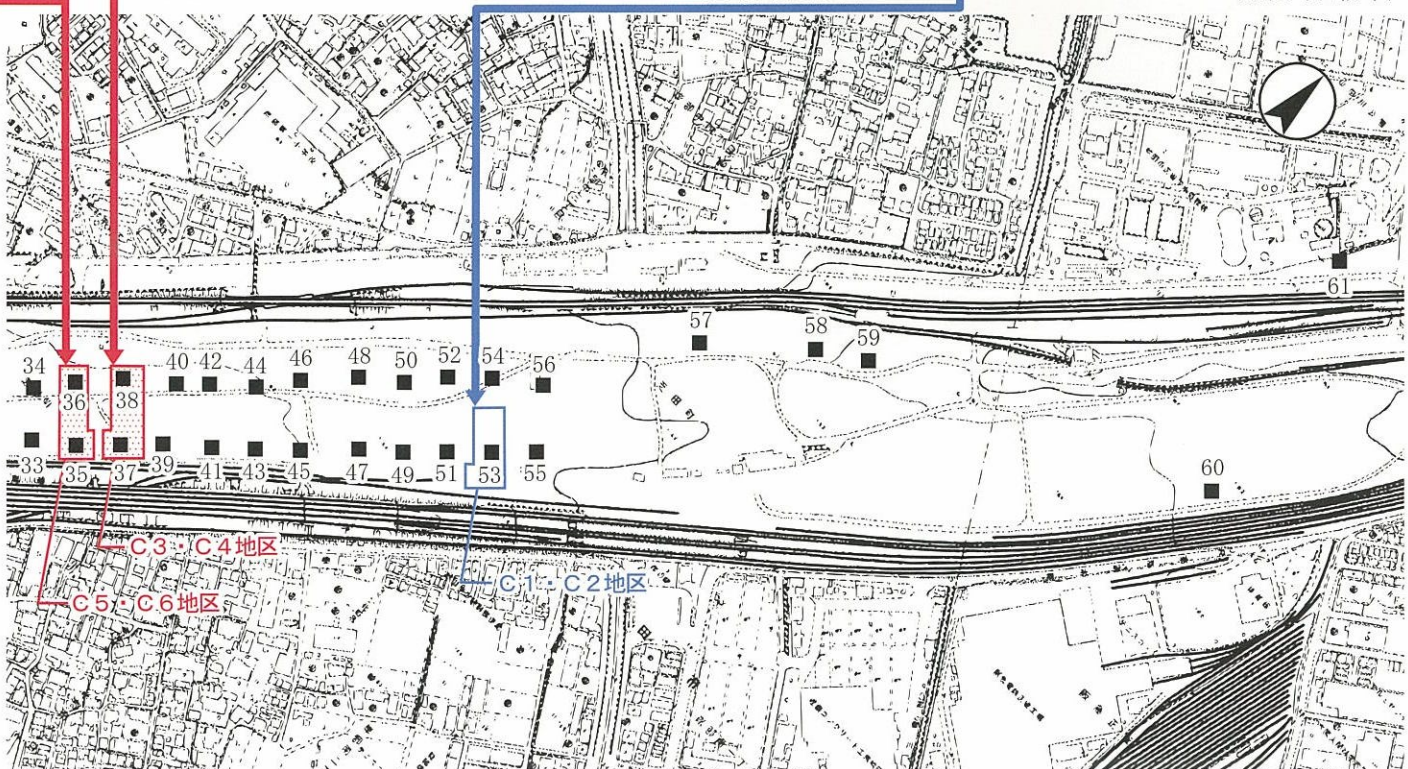
▲C1・C2地区掘立柱建物とそれに伴う
土坑 (古墳時代終わり～奈良時代前半)



▲C1・C2地区土坑遺物出土状況



▲後期難波宮と同型式の軒丸瓦
(奈良時代前半)

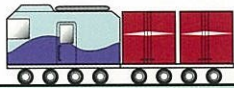




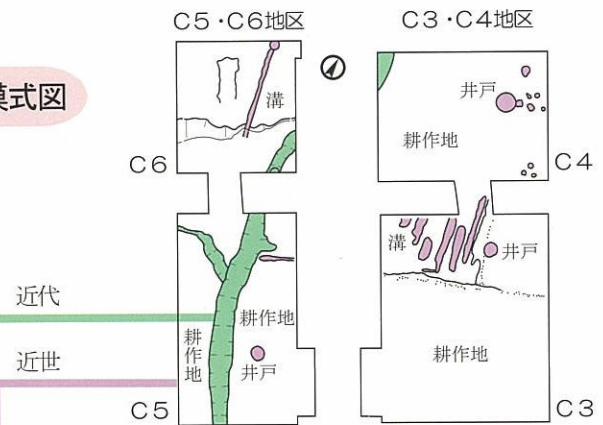
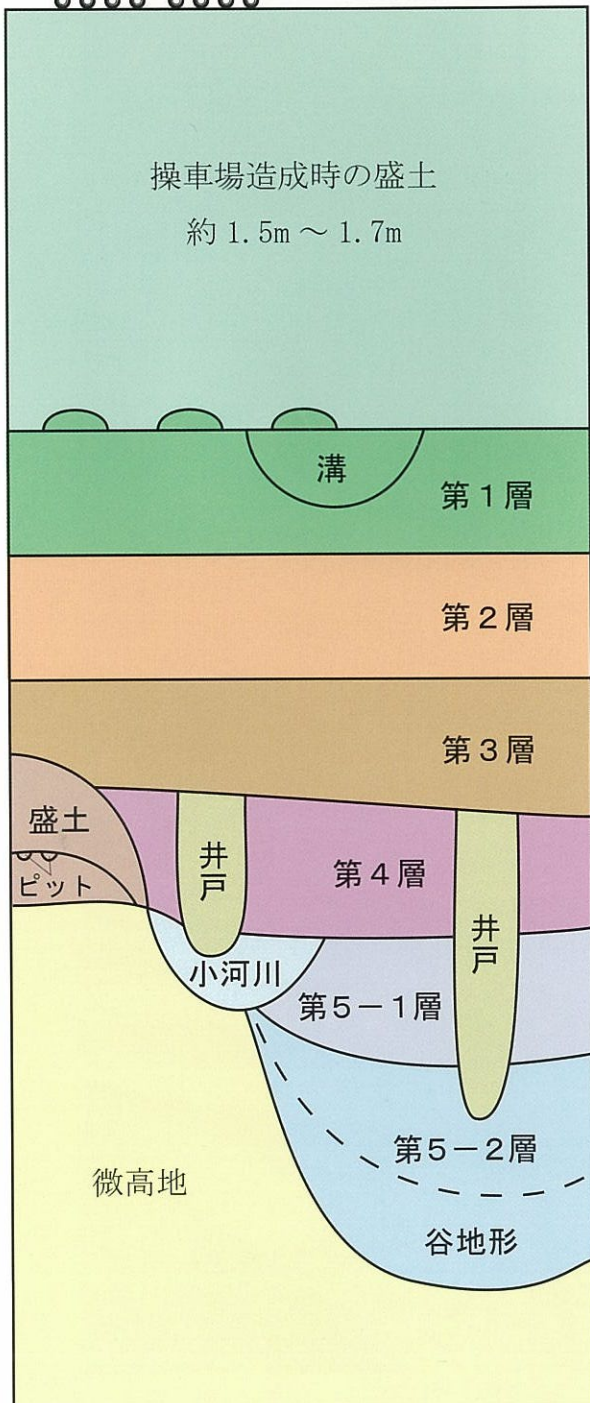
基本層序とC3・C4地区、C5・C6地区の遺構変遷模式図

操車場造成時の盛土

- 第1層…… 灰色シルト（近代耕作土）
- 第2層…… 黄灰色微砂混シルト（近世耕作土）
- 第3層…… 黄灰色シルト（近世耕作土）
- 第4層…… 褐灰色粗砂混シルト（中世～近世耕作土）
- 第5-1層…オリブ黒色細砂混シルト
（古墳時代後半～奈良時代 河川堆積）
- 第5-2層…黄灰色粘質土、灰色微砂～細砂
（弥生時代～古墳時代前半 河川堆積）

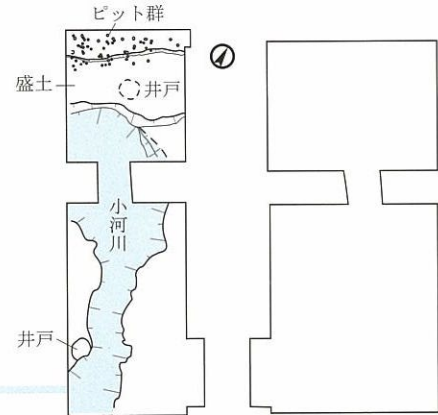


現地表面標高
約 8.0 ～ 8.2m



近世～近代の耕作地跡、造成地

C3・C4地区、C5・C6地区両方で耕作地として開発が行われています。溝は今もこの辺りに残る地割りと合致します。



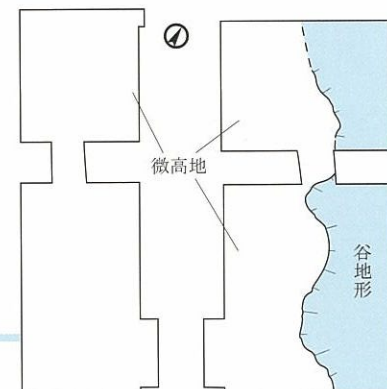
中世（室町時代）の盛土・小河川・井戸・ピット群

C5・C6地区で、小河川と盛土、井戸、ピットを検出しました。C3・C4地区ではこの時期の遺構は検出されていません。



古墳時代後半～奈良時代の谷地形

弥生時代から存在する谷地形はこの頃になるとかなり埋没したと考えられ、谷地形の規模が縮小しています。



弥生時代～古墳時代前半の谷地形

C3・C4地区の東側に谷地形が見られます。弥生時代、古墳時代前半の土器が出土。